

施工した建物競い入賞

田村町の建築会社 全国1214件応募のコンテスト

松阪市田村町の建築設計施工会社「デプロホーム」(臺堂嘉久社長、4人)が施行した住宅がこのほど、大手住宅総合建材メーカー主催の住宅コンテスト第18回TJ大賞で、応募総数1214件の中から、4位に当たる地域優秀賞に選ばれた。入賞は県内で同社だけで、第15回、16回に続き3回目の快挙。同コンテストは、トス

テム株(東京都)主催で、毎年開催。応募作品の中からデザインや構造、環境など、総合的に見て優秀と認められ、より快適な住空間の提案が成されているものを表彰する。参加は、施工した物件の写真と内容を文章化したもの、設計図面を提出してのコンペ方式。今年全国から1214件の応募があり、デプロホームは2件を応募した。



地域優秀賞に選ばれたデプロホームの皆さん。中央が臺堂社長＝田村町のデプロホームで

受賞した物件、伊勢市の「神久(じんきゅう)の家」は、同社の一級建築士・中西修二さん(36)の作品。車好きの施主の

思いを強く反映させ、生活スタイルに合わせて個性豊かに希望をかなえた。プライベート空間が外から見えないようにし

つつも、開放感が出るよう気を配ったり、内装をモダンにデザインした。地域優秀賞は4位に当たる賞で、入賞を機に建築雑誌に複数ページにわ

たって紹介されるなど、業界で注目を浴びている。この快挙に臺堂社長は「スタッフの頑張りのおかげ」と話し、喜んで